



18

だれもが気持ちよく過ごせる 社会を目指して

ゴミ箱をもっと増やして

文*編集委員会

絵*添田あき

あなたは日本の街の中に、もっとゴミ箱が増えたほうがよいと考えますか。この投書は、ゴミ箱をもっと増やしてほしいという意見です。この意見に対して、次のページのように賛成と反対の意見が寄せられました。あなたは、どう考えますか。

日本のゴミ箱をもっと増やして

◎大学生 十八歳さい 女性

例えば、鼻をかんだとき。テイクアウトのコーヒーを飲み干したとき。ゴミを捨てる場所を探しても近くになくて、落胆らくたんする。街にゴミ箱がないのだ。

日本ではあちこちで「ゴミは自分で持ち帰ろう」といった看板やポスターを目にする。しか

し、草むらなど人目につかない場所には、捨てられたゴミが多い。人が少ない場所に放棄するのは、捨てることに多少の罪悪感があるからだろう。

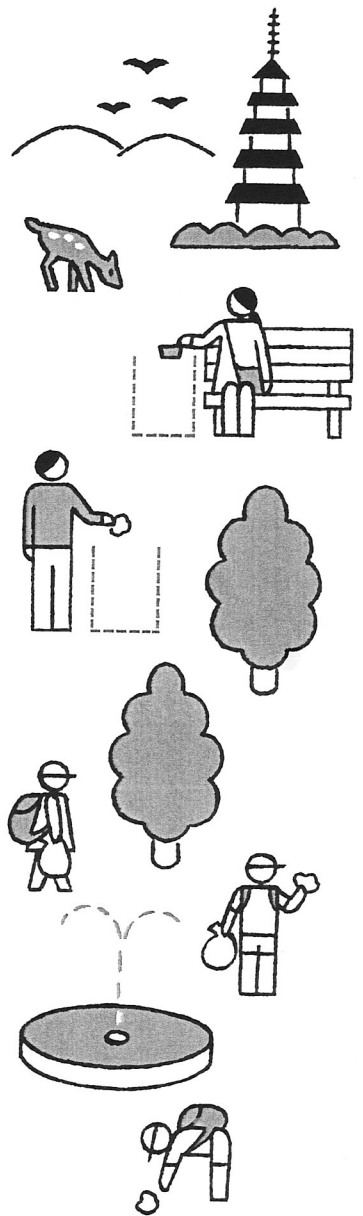
短期留学で米国べいこくに行ったとき、ゴミ箱の多さにおどろいた。大学構内でも三十歩で次のゴミ箱

にたどり着く。観光地でも地面に落ちたゴミはなかつた。ゴミ箱は錠じょうやふたが付いており、ゴミ収集車が常に巡回しゅんかい。ゴミ箱と周囲は、いつも清潔に保たれていた。

観光立国を推進する日本には、今後、さらに外国人観光客が

訪まじれるだろう。ゴミ箱が常に周囲に存在する環境で育った人たちは、戸惑とまどうのではないか。ゴミ処理はモラルに任せるという姿勢では限界がある。より多くのゴミ箱を設置してほしい。

10



ほかの人の意見

A 観光名所や公園には設置して

◎主婦 七十八歳 女性

「日本のゴミ箱をもっと増やして」に同感です。私は自分が出したゴミは持ち帰りますが、困るのは遠出したときです。

奈良や京都などの寺を拝観する際に案内冊子などを受け取りますが、数か所めぐるとかさ

ばります。また、観光の途中に休憩がてら公園のベンチでアイスクリームを口にした後、空になったカップを捨てたためのごみ箱が近くにあらたらいのになと思うこともあります。

「ごみは各自が持ち帰りま

しょう。」と公德心にうったえるだけでは、ごみのポイ捨てはなくならないと思います。日本政府は外国人観光客の誘致を成長戦略の一つにしています。きれいな景観を維持するために、外国人も多く訪れるような観光

名所や公園、大都会のメインストリートなどに限って、ゴミ箱を設置し、定期的に収集していただきたいと切望します。

B 分別して回収日に出しましょう

◎主婦 五十一歳 女性

私はゴミ箱の完全撤去を希望

します。公園や観光地からゴミ箱がどんどん撤去されているのは、とてもよいことだと思っています。「ごみは自分で持ち帰ろう」という看板、ポスターがさらに効果を発揮することを望

みます。

ゴミ箱が満杯の状態では放置されると、景観がこわれます。犬やねこ、カラスなどがかき回すと不衛生です。ゴミ箱を設置すると、人件費をふくめて回収費がかかります。その多くは税金

でまかなわれます。

ごみは自分が食べたたり、使ったりした物の一部なのです。各自が責任をもって処分すべきものではないでしょうか。ゴミ箱がなくても、個人個人の心がけで、街全体がきれいになるはず

です。

子供に小さいときから言っただけで、親が手本を見せましょう。自宅に持ち帰って、分別して、決められた回収日に出すことを。

つぶやき

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

◎ 環境守るためにも持ち帰ろう

◎ 介護士 二十八歳 男性

ご投稿にあるように、日本は「観光立国」を推進していますが、一方で「環境立国」として、ごみを出さない、ごみを増やさない、環境に負荷をかけないという取り組みも忘れてはいけません。草むらでも市街地で

も、ごみを投棄すると、場合によつては罰せられます。街にごみ箱がないと落胆せずに、ごみを持ち帰ることも考えてはどうでしょうか。

私が「ごみは持ち帰ろう。」と教わったのは小学校の遠足の

とき。そこには「自然をよごさない。」「ごみを投棄するのははじ。」という日本人の美意識があるとありました。大人になつた今、街に捨てられた空のコーヒーカップを見るたびに、そんな美意識が失われつつあると感

じます。ごみ箱が少なくて戸惑う外国人観光客がいたら、私たち若者世代が、「環境を守るために持ち帰りましょう。」と伝えていかなくてはいけませんね。

5

街は、ごみが少なく、きれいであるほうが気持ちがいいものです。だれもが気持ちよく生活するためには、日本のごみ箱はどうあればよいのでしょうか。

10

考えてみよう!

- 1 日本のごみ箱を増やすことに賛成か反対かについて、その理由もふくめて考えてみよう。
- 2 だれもが気持ちよく生活ができる、よりよい社会にするために、あなたはどのようなことに心がけたいか考えよう。



日本のごみ箱



イタリアのごみ箱



ベルギーのごみ箱